

## 平成 27 年度東北復興支援シンポジウム

テーマ：津波浸水および地盤沈降地域の将来の利用を見据えた自然資源の調査と国内外の類似環境下における事例の調査

開催日時：平成 28 年 3 月 18 日（金曜日） 13：00～15：00（シンポジウム）

15：30～16：30（エクスカージョン）

開催会場：わたり温泉鳥の海 2階会議室（宮城県亶理郡亶理町荒浜字築港通り 41-2 Tel 0223-35-2744）

主催：日本沙漠学会乾燥地農学分科会，国立大学法人東北大学大学院農学研究科

共催：公立大学法人秋田県立大学

協力：(株)大林組，(株)タケエイ，(株)環境科学コーポレーション

プログラム：別紙

概要：社会基盤の再整備後の安定した生活や生産のためには、持続的に利用できる資源が必要である。

また、農家、農村の自立支援のためには、現地のニーズに合わせた息の長い活動が重要で、在来技術の有効性を科学的に裏付けていく活動もまた非常に有効である場合がある。本シンポジウムはこれらの課題と解決方法を考えるため、平成 26 年～平成 27 年度に亶理町で実施した調査報告を行う。

参加条件：なし

参加費：無料

送迎：シンポジウムおよびエクスカージョンの各会場への無料送迎バスを運行

JR 亶理駅東口ロータリーへ 11 時に集合

申込：事前申込みを歓迎，当日参加もできます。電子メールまたは FAX に，①氏名，②TEL，③FAX，

④E-mail，⑤所属をご記入の上，事務局宛にまでお送りください。

※ご提供いただいた個人情報はこの講演会の準備・運営のみに使用させていただきます。

[申込先/事務局]

秋田県立大学 生物資源科学部 生物環境科学科 自然生態管理学研究室(担当：石川)

FAX：018-872-1677 E-mail：owner-cadal@iijnet.or.jp

事務局 HP：<http://www.jaals.net/>学会の活動-分科会など/分科会-乾燥地農学/

その他：本シンポジウムは、公益財団法人 経団連自然保護協議会・公益信託 経団連自然保護基金の平成 27 年度助成を受けて、実施されるものである。

# 平成 27 年度 東北復興支援シンポジウム プログラム

平成 28 年 3 月 18 日

日本沙漠学会乾燥地農学分科会会長

石川 祐一

総合司会：青木雄二，大林組

## ■シンポジウム (13:00～15:00)

13:00 開会の辞 石川 祐一 (乾燥地農学分科会 会長)

13:10 講演  
津波被害を受けた農地土壌の概況とその対策について (菅野均志, 東北大学助教)

13:50 講演  
湿地植生ヤナギの利用と亘理町での実証について (石川祐一, 秋田県立大学准教授)

14:30 休憩 (10 分)

14:40 講演  
亘理町の津波堆積土の土壌改良による畑利用の例 (杉本英夫, 大林組技術研究所)

15:00 閉会の辞 南條正巳 (元日本土壌肥料学会 会長, 東北大学教授)

## ■エクスカージョン (15:30～16:30)

ヤナギ栽培圃場 (宮城県亘理町 鳥の海近く) の見学

※試験圃場の案内地図は、シンポジウムの資料と別に配布します。

※エクスカージョンの参加は、任意です。

## ■送迎バスの運行予定

JR 亘理駅からシンポジウム会場

東口ロータリー (11:00) ～鳥の海ふれあい市場 (11:15～11:40) ～鳥の海温泉 (11:45)

シンポジウム会場からエクスカージョン会場

鳥の海温泉 (15:10) ～エクスカージョン会場 (15:30)

エクスカージョン会場から JR 亘理駅

エクスカージョン会場 (16:30) ～JR 亘理駅 (16:45)

## ■JR 亘理駅の発着例

往路 仙台駅発 10:24 ～ 亘理駅着 10:53 (常磐線 仙台発・浜吉田行)

復路 亘理駅発 17:00 ～ 仙台駅着 17:32 (常磐線 浜吉田発・仙台行)